

# 日本共産党の竹田えつ子です こんにちははニュース 議会報告



No.154

2021年10月第2週



くらしのご相談事  
いつでもお声かけ  
ください。

## 日本共産党 総選挙政策を発表

10月11日、日本共産党の志位委員長は、総選挙政策「なにより、いのち。ぶれずに、つらぬく」を発表しました。

自公政治を終わりにして、政権交代で、命を守る政治を、コロナ対策—経済・社会活動を再開しながら命を守るために。

**なにより、いのち。  
ぶれずに、つらぬく**

4つのチェンジで自公政治にかわる新しい政治を

① 日本共産党の新経済提言—  
—コロナ危機を乗り越え、  
暮らしに安心と希望を

② 地球の未来を守る政治への  
転換—気候危機を打開す  
る日本共産党の2030戦  
略

③ ジェンダー平等社会の実  
現、多様性と個人の尊厳を  
大切にする政治への転換

④ 憲法9条を生かした外交へ  
の転換で、平和な日本とア  
ジアをつくる

### 10月11日現在の鴻巣市の新型コロナワクチン接種状況 (12歳以上)

対象者	108,620人	
1回目接種	74,005人	68.1%
2回目接種	65,077人	59.9%

竹田えつ子は、希望者は、教育委員会と協議しすべての2回のワクチン接種の終了時期はいつになるのか? また受験生への配慮について質しました。市は、希望者の2回目の接種が終わるのは11月中旬頃であるとして、受験生について

竹田えつ子は、希望者は、教育委員会と協議しすべての2回のワクチン接種の終了時期はいつになるのか? また受験生への配慮について質しました。市は、希望者の2回目の接種が終わるのは11月中旬頃であるとして、受験生について

### 新型コロナ対策

9月議会  
一般質問より

### 11月中旬には、希望者のワクチン接種完了見通し

ワクチン接種は万端ではありませんが、効果があると言われていきますので、3回目のワクチン接種の見通しについて聞きました。議会答弁時の9月21日には、まだ正式な通知が来ていないとしました。その後22日に国から自治体への通知があり、8カ月経過した人からの準備を始めると、9月24日の全員協議会で報告されました。

ワクチン接種は万端ではありませんが、効果があると言われていきますので、3回目のワクチン接種の見通しについて聞きました。議会答弁時の9月21日には、まだ正式な通知が来ていないとしました。その後22日に国から自治体への通知があり、8カ月経過した人からの準備を始めると、9月24日の全員協議会で報告されました。

### 陽性者が出た場合、濃厚接触者の対象を広げ、PCR検査を行うことについて

教育委員会から、児童の感染が確認された学校で、2日間の学級閉鎖を行ったことが報告されました。国は、子どもは感染しても軽症あるいは無症状であることが多いとされています。同じクラスだったお子さんの保護者

教育委員会から、児童の感染が確認された学校で、2日間の学級閉鎖を行ったことが報告されました。国は、子どもは感染しても軽症あるいは無症状であることが多いとされています。同じクラスだったお子さんの保護者



とんでもない！  
税金の使い方！

## 菅前内閣 機密費支出13億円内 領収書不要が11億円超ヤミ金「政策推進費」

菅義偉前内閣が約1年間の任期中に支出した内閣官房機密費（報償費）は約13億3000万円に上ることがわかりました。このうち加藤勝信官房長官（当時）が自由に使える領収書不要の「政策推進費」が約11億6000万円と87%を占めました。（しんぶん赤旗日刊紙10月10日より）

機密費の総額は、菅内閣の総辞職（4日）を目前にした今月1日の定例会見で加藤官房長官が明らかにしました。

会見によると、昨年9月16日の菅内閣発足から今年9月末までに支出した官房機密費は13億3000万円といいます。

3類型ある官房機密費の支出のうち、用途を官房長官しか知らず、最もヤミ金の要素が強い「政策推進費」は約11億6000万円としています。

発足から先月末までの380日間に、加藤氏は1日平均305万円の「政策推進費」を支出したことになります。

これは第2次安倍内閣で官房長官だった菅義偉氏が在任中の2822日間に1日平均307万円の「政策推進費」を支出したのと同ペースです。

昨年度末に精算して、国庫に返納した官房機密費はわずか13万6000円に過ぎません。

毎年、国庫への返納額はわずか、1年間に11億円超の「政策推進費」を使うのは菅氏と同じパターンで、加藤氏はこれを踏襲した格好です。

1日の会見では、記者から「（官房機密費を）必要なときに必要な額を支出するのであれば、どうして13万円までしか残らないほど使い切るのか」と質問があがりました。

これに対し加藤氏は「使い切るのではなく、結果ということ」と強弁しました。

また記者から「日本学術会議の年間予算9・8億円を上回る額が使われている」と指摘を受けました。

菅内閣は昨年、発足して早々に日本学術会議が推薦する会員候補6人の任命を拒否しました。その際に菅氏が言いつのったことの一つが「（学術会議は）年間約10億円を使っている。国民に理解される存在でなければ」というものでした。

菅内閣は、公金の私物化や多くの疑惑が指摘されてきた官房機密費について、政治家や公務員、ジャーナリストに支出しないことをルール化することや、一定期間後に支出先を開示するなどの疑惑解消には全く手をつけないまま退陣しました。後継の岸田政権の対応が今後問われます。

摘要(使用目的等)	受領額	支払額	残
政策推進費	0	186,300,000	8

（写真）本紙が情報公開請求で入手した資料。加藤官房長官（当時）は年度末の今年3月に政策推進費に1億8630万円（右上）を支出し、わずか13万6371円しか使い残しませんでした